



## 議会 総務常任委員会視察

10月28, 29, 30日と総務常任委員会の視察がありました。

広島県福山市では、「自転車利用促進プランについて」「公共施設マネジメントシステムについて」、熊本県熊本市では「公共サービス民間提案制度について」「公共交通基本条例について」、それぞれ各市の取り組みを伺いました。どこの市も同じ課題を抱えており、独自の取り組みなど工夫をこらしていることがわかりました。

また、どちらも城下町で、お城を観光資源としているところは和歌山市と共通しています。「また



来たい」と思ってもらうためには、何を大事にするのかなど、参加の委員と話が弾みました。



こんにちは

坂口多美子です

「安倍さんめっちゃくちゃや、あんなあかん」。こういつた声をもう何度聞いたでしょうか。今まで共産党に支持をしてこなかったという方が「自民党倒してもらわなあかん、今度はあんたや、頑張ってや」と強く手を握り返してくれる、こういつたことが珍しくなくなってきました。憲法を守らない、国民の声を聞かない安倍自公政権に怒りがおさまらないといった状況が広がっているのを感じます。しかし、なかには安保法制もTPPもテレビを見ているだけでは何が問題

なのかよくわからない、賛成も反対もしようがないといった声も少なからずあります。一方で、戦争を体験した方たちは「最近テレビから戦時中に聞いたきた言葉がどんどん聞こえてくる、本当に怖い」と話されます。政府はじわりじわりと浸透させたいのでしようが、そう簡単にいかないという自信がこの間のかつてない運動の広がりのなかで確信となつていきます。これからさらに広げていかないとけないたたかいに、もっと工夫を凝らし、知恵を集めて、より多くの方と手をつなげるように運動の先頭に立って頑張っていきたいと思えます。

## ぜひ 傍聴を！ 生活保護裁判 11月13日（金）午後1:30～ 和歌山地裁 202号法廷

生活保護基準の引き下げに反対し、人間らしい生活を求めてたたかっている「生活保護裁判」は、憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを真正面から問う裁判です。裁判官に公正な裁判を求め、原告団を励まし世論に大きく訴えるため、ぜひ多くのみなさまの裁判傍聴をお願いします。（個人を特定されたくない原告もおられますので、写真撮影等のご遠慮ください）

呼びかけ：生存権裁判を支援するわかやまの会



こんにちは松坂みち子です No.247